

トキ生息環境整備地域活動事業支援状況(平成30年度)

整理番号	継続年数	団体名	職名	代表者名	団体所在地	構成員数	活動期間	活動目標	主な活動場所	活動内容	助成の可否	実績事業費	助成対象経費	助成確定額
1	5年	トキの郷をつくる会	会長	和田 孝士	佐渡市新穂長畝	5	H30.4～H31.3	野生放鳥したトキが、ねぐら、餌場、営巣など生息している地区の環境整備を行いながら、他団体との協働により環境整備手法のレベルアップおよび啓発活動を行い、環境にやさしく、トキと共生するエコアイランド佐渡を目指す。	新穂長畝	○ビオトープ管理 ○森林整備活動 ○環境教育活動	助成	300,000	250,000	250,000
2	2年	トキ生息環境馬場保全会	会長	木林 吉春	佐渡市大和	20	H30.4～H31.1	平成24年4月に自然界で初めてこの馬場集落にトキが誕生し、その後も毎年巣作りをしてこの地を生息の場として選り住民と共生していることに思いを寄せ、今後もトキが安全で安心して生息していけるよう自然環境の保護と整備を推進する。	大和馬場	○生息環境整備 ○水生生物調査	助成	292,932	262,932	250,000
3	2年	トキと暮らす里山	会長	渡辺 治	佐渡市新穂湯上	6	H30.4～H31.3	会員が生活を営む敷地内、田んぼ、森林に多くのトキが生息しており、トキの餌場・ねぐらの造成・維持管理を行いながら、トキと暮らす里山づくりを目指す。	新穂湯上	○放棄田でのビオトープ造成 ○森林整備 ○営農田の維持管理	助成	310,000	250,000	250,000
4	2年	コネクト	代表	嶋田 真巳	神奈川県相模原市	14	H30.8～H31.2	東京工科大学のボランティアサークル、ボランティア・コネクションから大佐渡地域でのトキ呼び込み活動を引き継ぎ、活動する。 学生、社会人関わらずトキの野生復帰活動・ボランティア活動に興味・関心のある人の交流を進める場の1つとして提供する。これまでの活動のノウハウを生かし大佐渡地域にトキを呼び込むことを目標とする。	岩屋口集落	○岩屋口集落の休耕田のビオトープ化	助成	428,926	127,557	127,557
5	1年	朱鷺の棲む山田会	代表	佐藤 辰夫	佐渡市加茂歌代	5	H30.6～H31.3	会員が生活を営む地区の水田や周辺林地にトキが通年生息するようになった。トキの餌場やねぐらの造成・維持管理を通して、生息環境の整備・拡充を目指す。	佐渡市加茂歌代	○ビオトープの造成	助成	300,000	250,000	250,000
6	2年	湯上水辺の会	代表世話人	板垣 徹	佐渡市新穂湯上	50	H30.9～H30.11	トキが多数定着している新穂湯上地区において、これまでに整備されてきたビオトープの維持管理にとどまらず、地域に散在している耕作放棄状態の水田等をビオトープとして面的に整備し、その継続的な維持管理体制を構築したい。 しかしこれまで継続してきた地域のボランティア活動は高齢化もあって限界に達しており、更なる作業負担を引き受ける余力はなくなっている。 このため、機械使用で作業効率を高めるとともに作業日当をきちんと支払う仕組みとして新たに「ビオトープ整備隊」を組織し、ビオトープの整備・維持管理活動を行う。 さらに、今後進められようとしている天王川中流域自然再生事業と連携して、この地域一帯としての餌場環境整備を図る。	新穂湯上、田野沢、正明寺	○ビオトープの新規整備 ○既存ビオトープの維持・管理	助成	572,810	259,396	250,000
7	3年	NPO法人トキどき応援団	理事長	計良 武彦	佐渡市新穂湯上	67	H30.4～H31.3	野生復帰エリア内の重要箇所の森林・水辺をモデル的生息環境として一体整備する。新潟大学の人材養成講座卒業生を作業員として組織化する。	新穂湯上	○水辺環境整備 ○森林間伐作業・竹林整備作業 ○水辺ビオトープの整備	助成	251,482	251,482	250,000
合計												2,456,150	1,651,367	1,627,557